

経営健全化方針に基づく取組状況（令和元年度）

○法人名：有限会社 阿多田島汽船

○経営健全化方針を策定した理由：

地方公共団体の現在及び将来における財政的リスクがある第三セクター等については、抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応等が必要とされているところ、市が出資（37.5%）を行っている（有）阿多田島汽船は、平成 29 年度決算において債務超過額が 37,839 千円でした。

このため、総務省通知「第三セクター等の経営健全化方針の策定について」（平成 30 年 2 月 20 日総財公第 26 号）に基づく抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応等を内容とする経営健全化のための方針（以下「経営健全化方針」という。）を策定しました。

○財政的なリスクの状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
債務超過額（千円）	37,839	29,364	36,310
損失補償、債務保証及び短期貸付けの 合計額（千円）(A)	0	0	0
標準財政規模（千円）(B)	7,491,237	7,477,239	7,413,424
実質赤字比率（%）	－	－	－
(A)／(B)（%）	0	0	0

○主な取組状況（令和元年度）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

（有）阿多田島汽船は、島内人口が減少傾向のため、島外からの来島者の増加による増収を図るなど経営努力を継続している。令和元年度は、これまで広告宣伝等に協力してきた海上釣り堀の島の観光資源としての人気が高まっていることなどから利用客が増加し、運賃収入は増加している。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

市は、阿多田島汽船の平成 30 事業年度（平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）の欠損補填のため、離島航路運営費等補助金 19,982 千円（欠損額 34,232 千円－地域公共交通確保維持改善事業費補助金（国庫補助金）14,250 千円）を交付した。

○法人の財務状況

(貸借対照表から)

(単位：千円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
資産総額	32,280	30,253	32,567
（うち現金・預金）	6,756	4,714	6,989
（うち立替金）	55	57	61
（うち未収入金）	279	307	288
（うち前払金）	3,006	3,099	3,068
負債総額	70,119	59,617	68,877
（うち大竹市からの借入金）	0	0	0
純資産額	△37,839	△29,364	△36,310

(損益計算書から)

(単位：千円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
経常収益	95,602	99,751	95,673
経常費用	100,784	91,276	102,619
経常利益（損失）	△5,182	8,475	△6,946
特別利益（損失）	0	0	0
当期純利益（純損失）	△5,182	8,475	△6,946